

# ときわ会

No.160  
令和7.8.1  
ときわ会  
中魚・十日町  
広報委員会  
題字・柑澤恭一

JR東日本信濃川発電所 千手発電所 撮影 中沢 覚 (川西中 H16年度)

## 自分が何をしているのか、分かってるのか!?

支部長 山本 平生 (十日町中学校 S63年度)



サスペンスドラマ等の中で、相手が明らかに良識に反する行いをしようとしているときに、正気が尋ねたり、制止したりしようとして口にする台詞、「お前、自分が何をしているのか、分かってるのか!？」。

犯罪につながるようなことは、ドラマの中だけにしておいていただきたいのですが、学校の中でも時々こう言いたくなることや、こう言われてしまいそうなことがあります。

清掃の時に、四角い教室を箒で丸く掃くあの子、「してはいけない」と注意した直後に、それをするあの子。教師の悩みは尽きません。

自分の過去を振り返れば、研究授業を公開して「自分としては、プラン通りに進められたし、子どもの反応もまずまずよかったぞ。」と意気揚々と引き上げてきたところ、事後の協議会では諸先輩にことごとくダメ出しをされた挙句、「自分が何をしているのか、分かってるのか!？」と言われる始末。

「学校における教師の一挙手一投足は、全て意図的計

画的なものでなければならない。」と、言われたことがあります。つまり、教師は「自分が何をしているのか、分かって」いなければならないということでしょう。心して教育活動に携わりたいものです。

さて、今年度、私たち中魚・十日町支部は、引き続き「つまりの地に学び、つまりの教育をリードする中魚・十日町支部」を基本方針として、次の3点を心がけて活動を進めていくことを先の総会で確認しました。

- 1 主体的に学び続ける会員一人一人の「教育力」を高める研修の推進
- 2 仲間と共に伸びゆく会員一人一人の「つながり」を深める組織の活性化
- 3 現職会員、OB会員、会員外の人や機関との連携強化  
今年度の取組の全てが、この3つのことに収斂していくものと考えれば、「自分が何をしているのか」を見失うことはないと考えます。一緒に前に進んでいきましょう。